

# 小郡市役所の人材育成は大丈夫か

## 人を育てるのが管理職の役目

### 男女問わず能力を引き出し活かせ

小郡市議会議員 しんばる善信後援会だより

つなぐ

発行  
しんばる善信後援会  
小郡市小郡1304-2  
0942-73-2123



## 生き生きとした職員が 活力ある小郡市をつくる

最近、小郡市役所職員の病気休職、若年退職が増えています。増え続ける住民ニーズ、頻発する災害対応、新型コロナウイルス対策、財政難などで業務負担が増えていることも一因です。多くの部署が人手不足、残業で疲れがたまっています。新たな職員増が望めないなか、どうやって職員の健康を守りながら、いい仕事をするか難しい問題です。しんばる議員は、特に、管理職の人材育成・活用力と女性の登用が解決のカギではないかと提起しました。

「うちの会社は人を  
つくっています。つ  
いでに電気製品も」

松下電器の創業者松下幸之助さんのことばです。パソコンやAIといった便利な機械が事務作業を効率的にこなす時代になりました。けれど、市民の願いや苦しみを感じ、市民を幸福にするために動くのは人です。機械はあくまでそのための道具でしかありません。

つながらる力、ともに  
考える力が大事

どんな人材を育てるのかとの問いに加地市長は、「自治体職員に必要なのは専門的能力や新たな課題に積極的に取り組む姿勢や創造力、柔軟性です。そのために、多様な人々とつながり、ともに考え、解決に努力できる豊かな人間性やコミュニケーション能力です。」と答えました。

## 職員は市民生活の現場で育つ

6、7月の豪雨時、職員は避難所設営、被災状況把握などに努めました。2年前、対応のまずさから市民の批判を受けた時よりずいぶんよくなりました。このように市民の批判や意見を改善につなげ、市民に喜ばれれば職員のやる気は高まり、自信につながります。現場での市民との関わりが職員を育てるための大きな力となる一例です。

個人の能力あっても、  
人を育てられない管  
理職はダメ

平成14年につくられた小郡市の人材育成基本方針の中に管理職の責務として「部下の指導育成が主要な職務であることを肝に銘じ」と書かれています。今どれだけの管理職がそのことを自覚しているか再度問い直し、自らの責務を果たしてもらいたいと思います。

## 女性管理職、現在20%

現在、小郡市の女性管理職(部長、課長)の割合は20%で、これを令和5年までに25%以上にするとしています。

小郡市における監理的な女性職員の割合 (%)

	H27	H28	H29	H30	H31	R2
部長	16.7	0.0	0.0	16.7	14.3	0.0
課長	12.5	15.2	17.6	20.5	20.5	23.7
係長	27.6	27.4	28.4	30.1	30.6	34.1

## ケアとフェアが必要

加地市長は、そのために、育児休業制度などの整備(ケア)と、男性と同じ課題解決の経験をさせること(フェア)が必要だと述べました。



# すでに全国462議会が意見書提出

## 核兵器禁止条約参加求める意見書、少数否決

### 小郡市は非核恒久平和宣言都市なのに

本年8月6日と9日の広島市、長崎市原爆祈念式における平和宣言で両市長は、政府に対し国連の核兵器禁止条約への署名、批准を求めました。世界で唯一の戦争被爆国として原爆の苦しみを体験したヒバクシャの叫びを訴えたものでした。しんばる議員は、小郡市議会も署名・批准を求める意見書を出そうと提案しました。しかし、議員の中には政府の言う安全保障上、アメリカの核抑止力に頼っている日本がこの条約に参加することは非現実的だから反対だという意見が多数を占め否決されました。

#### 発効まであと4カ国

条約は、2017年7月、国連総会で賛成多数で成立し、現在、発効に必要な署名批准国50カ国まで残り4カ国となっていて、今年中には達成されそうです。

#### 推進したICANにノーベル平和賞

この条約成立をめぐってはICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン、世界101か国468のNGOで構成された連合体)の活動が大きな役割を果たしたとして、その年のノーベル平和賞が授与されています。

#### ローマ教皇、広島で核抑止論は偽善と批判

昨年11月、来日したフランシスコローマ教皇が広島市の平和公園で「核戦争の脅威で威嚇することに頼りながら、どうして平和を提案できるか」と述べ、核抑止力を唱える国々を批判しました。

#### 小郡市は非核宣言都市

昭和59年、小郡市議会と小郡市は非核恒久平和都市宣言を行っています。それにもかかわらず、今回否決されたことは誠に残念ではありません。

#### 令和元年度、決算審査

#### 実質単年度収支

# 2億8320万2千円の赤字

### 財政再建の道険し

#### 実質収支黒字の落とし穴

分厚い決算書の中に、実質収支は2億1078万8千円の黒字とあります。おお、いいじゃないかと思いきや、ところがどっこいです。実質単年度収支を見れば一転して2億8320万2千円の赤字となっています。つまり、ざっと言えば実質単年度収支は、基金(貯金)を取り崩さなかったら完全な赤字だということを示しているのです。

過去10年間、実質収支は一貫して黒字です。一方、実質単年度収支は平成26年からずっと赤字になっていまして、この間、基金の取り崩しのできたのです。

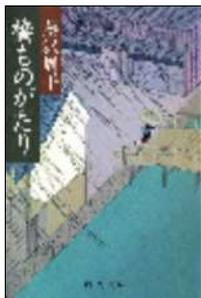
**どこを削ったらいかなかなか難しい**

#### すでに平成26年から赤字だった

いつからこんなことになっていたのか調べてみました。

収入を増やし、支出を減らす。言うまでもないことです。でも、それがなかなか難しい。どの事業にも市民のどれかの生活が関係しているからです。お金は減らしても市民に納得してもらえないような別のやり方はないか、厳しい財政が続く中、一層知恵を絞らなければならぬと思っっています。

### この1さつ



橋ものがたり  
藤沢周平

これまで藤沢周平原作の映画をいくつか観てきました。共通するのは、平凡に誠実に暮らす下級武士のお話です。時として不正に對し命を懸けて立ち向かう姿が魅力です。一方、この橋ものがたりは、武士ではな

く、市井しせいに生きる町人の人情話です。江戸の橋にまつわる男と女の様々な思いの通い合いをしつとりと描いた10の短編集です。ハリウッド映画のような派手さはなく、交わすことばの数も多くありません。

それでも、読んでいてしみじみとした江戸庶民の息遣いが伝わってきます。だれかに思いを伝えるのは、ひよつとしたらことばなんかではないのかも知れないとしばしば、余韻にひたりました。

(よし)

# 全児童生徒にタブレットPC 総額2億3790万円

## 整備は全額、国交付金、その後の維持管理は市負担

### 経済産業省主導のIGAスクール構想が発端

昨年秋、国が全国の小中学校にインターネット環境を整備し、パソコンを使った授業を推進すると打ち出しました。子どもたち全員にパソコンを持たせ、それを使った授業を進めようというのです。これを主導したのは、文部科学省ではなく経済産業省でした。教育方法論、発達心理など度外視して国際競争に勝つ国の経済政策に合わせようというのがそのねらいです。

### 新型コロナウイルス臨時休校で加速

これに拍車をかけたのが3月から3カ月間続いた臨時休校です。家庭にいてもインターネットを通じた授業ができるようになったという声が大きくなったのです。そのため国は、整備を速めるとして臨時交付金で今年度中に実施せよとせきたてました。

### 教室に、大きな充電保管庫

1台37000円のタブレットPCを5280台買い、各教室に45台まで収納できる大型の充電保管庫を置くことになりました。

### 3月までに整備、活用は来年度から

9月議会で予算が承認され、業者による学校内の整備が3月までに終わります。実際に活用できるのは4月以降となる見込みです。

### デメリット認識する必要

タブレットにはネット検索、通信、写真や動画、学習アプリなど様々な機能があります。さて、これら子どもたちの豊かな学びにどう結びつけることができるか。決してメリットだけでなく失うものもあることをよくよく心得ておかなければなりません。

### 議会ごほれ話

### トランプさん、小郡市議会の感染予防対策見習ってください

小郡市議会は、9月定例会を前に「新型コロナウイルス感染症拡大抑制」マニュアルを作りました。公務・私用を問わず外出・3密を控え、37.5度以上は入室禁止、議場入退出時には手指消毒、マスク着用、発言の際はフェイスパネルかフェイスガード着用と徹底したものでした。9月の議場内は冷房が入っているのに暑くはないのですが、一日中マスクを着けたまま座っているのは疲れるものです。学校の子どもたちもきっと煩わしいだろうと想像できます。このこと一つとっても、新型コロナウイルスは、人と会話するといった私たちのごく当たり前の日常生活に大きな影響を与えているのだと思ひ知らされました。